

.....

みんなのため、地球のために

橘田 武彦

.....

今、私たちが担うべき役割は「良い環境をつかって人々のもとへ届ける」ことはもちろんですが、もっと違う角度で、さらに広い視野で、その一つひとつを、しっかりと、ていねいに活動に結びつけることです。それが私たちのやるべきことだと考えています。

台峯緑地は自然豊かな貴重な宝の山です。長年、二つの活動を行って来ています。当たり前のことだから、大切にしています。山の手入れと山歩きは体験をしながら保全ができます。毎月々同じ道を歩くことで山の営みを知る第一歩となります。見て・触れて・食しての体験を通して貴重な知識を会得しています。田植え、眺望、木々、草花、野鳥・昆虫・小動物類の観察や自然がおりなす四季折々を楽しむ事ができます。又、見方を変えれば生態系に大きく寄与しています。

私のお気に入りには、秋の山々の紅葉やハンノキの群生地に日が差し込み光り輝く光景はまさに水彩画を観ている様な感覚になり心が和みます。マイトレジャーとなっています。

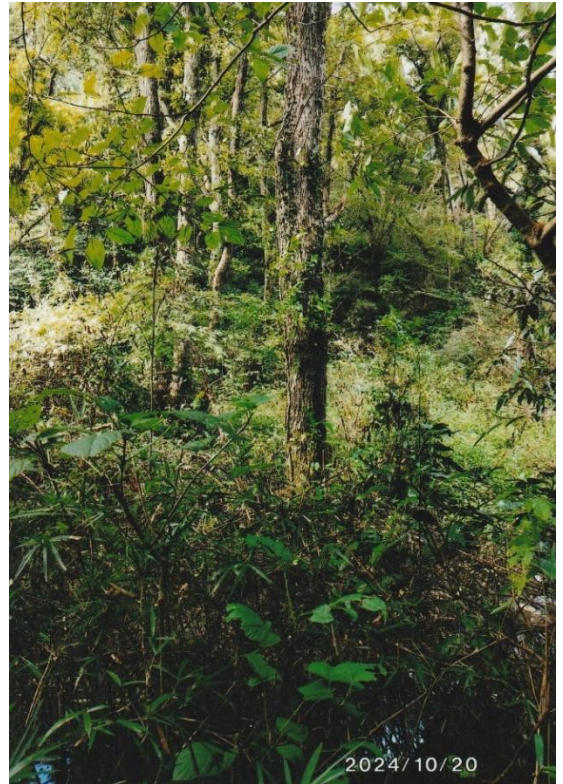
皆で一緒に体を動かすのも健康的で楽しいことに気付かされました。

安全・安心の環境こそが 21 世紀の栄養素と言えます。一人ひとりの想いがみどりを

守ることに繋がります。人の暮らしと「山」は誰しもがベネフィットを受けています。都市の人も。森は人を育てます。

最後になりますがお世話をして下さっている篤志の方々に感謝を申し上げます。

2024.12.8



橘田 武彦氏撮影

.....

書き手の橘田武彦氏は、長年に亘り当会の山歩きや山の手入れに参加され、台峯の実質的保全にご協力頂いています。

微生物の研究に携わり、また傍ら味覚のテストにも加わっておられました。文中に「食して」とあるように、木の実などを口に入れられます。この12月の山歩きでもムラサキシキブの実の甘さを、「ビーツ(甜菜、砂糖大根)のよう」と表現されました。